

市町村健康増進計画等の推進に係る取組について（令和5年度）

市町村名	小林市												
事業名	健(検)診受診率向上対策												
対象者	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">1 住民全体</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>2 出生～児童・青年の世代</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>3 働く世代</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>4 高齢期</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>5 その他</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">その他の内容</td> </tr> </table>	1 住民全体	<input checked="" type="checkbox"/>	2 出生～児童・青年の世代	<input type="checkbox"/>	3 働く世代	<input type="checkbox"/>	4 高齢期	<input type="checkbox"/>	5 その他	<input type="checkbox"/>	その他の内容	
1 住民全体	<input checked="" type="checkbox"/>												
2 出生～児童・青年の世代	<input type="checkbox"/>												
3 働く世代	<input type="checkbox"/>												
4 高齢期	<input type="checkbox"/>												
5 その他	<input type="checkbox"/>												
その他の内容													
事業概要	<p>市が実施している国保特定健康診査、各種がん検診について、対象者全員へ個別通知を通じて情報提供を行った。また大腸がん、胃がん、子宮がん、乳がんについては、無料対象者の設定を行い、受診率向上につなげた。集団健(検)診については、働き世代も受診しやすいよう休日健(検)診の実施やWEB予約、コールセンターの継続等、受診環境の整備を行った。</p> <p>未受診者対策として、年度途中で、特定健康診査については、ナッジを活用した勧奨はがきの通知、がん検診については、国立がん研究センターの情報を有効活用したはがきの通知し受診勧奨を実施した。</p> <p>啓発活動について、市広報誌での健(検)診の特集記事の掲載、市のLINE、防災メールにて適時、情報配信、市の体育祭、まつり等の市のイベント、出前健康講座や健康相談事業等での啓発、市内小中学校の保護者あてに健(検)診チラシの配布、市内医療機関、小中学校、公共施設等へののぼり旗の設置等、あらゆる機会を通じて健(検)診のPRを実施し、普及啓発を行った。</p>												
参加者数													
事業予算	がん検診39,036千円 特定健診52,504千円 合計91,540千円（実績ベース）												
事業効果等	<p>個別通知を通じて全健(検)診対象者へのアプローチの実施、集団健(検)診については、休日の健(検)診実施やWEB予約、コールセンターの継続等、住民が受診しやすい受診環境整備を行った。</p> <p>また未受診へ効果的な受診勧奨の実施し、またあらゆる機会を通じた健(検)診啓発活動により、健康無関心層へのアプローチにもつながり、受診率向上につなげた。</p>												

課題等

特定健康診査、がん検診ともに、経年的受診率は伸びてきているが、目標値には届いていない。特に40～50歳代の受診率が、60歳代以上よりも低いため、今後も働き世代へのアプローチが必要。

写真・グラフ等

